

あしび



発行：福祉ホームB型 あしび
474-0071 大府市梶田町二丁目 98 番地
Tel・Fax 0562-44-8204
E-mail ashibi@kyowa.or.jp



■ 福祉ホームB型とは？ ■

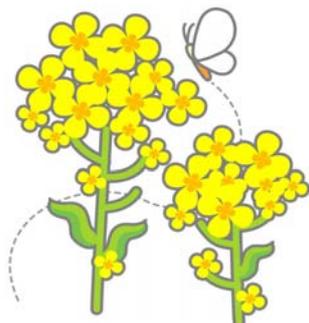
心の病を持っており、長期入院により病状は安定しているけれど住宅の確保が難しい方、高齢のため一定の介助を必要としている方に生活の場として利用していただくものです。昼間はデイケアや就労などを通して社会復帰を目指していく施設です。



🚩「あしび」の由来 🚩

「馬酔木」と書くツツジ科の樹木です。壺状の花が連なって咲く春の花です。花言葉は「献身、いつも一緒」。あしびが共和病院名誉院長 加藤邦之助先生の自宅跡地に建てられたことから、先生が命名してくださったものです。

あしびは鉄筋2階建てで、入り口からすべてバリアフリーとなっています。1階は居室5部屋、広さは1部屋6畳のスペースに大収納の物入れが3箇所、ベッド、寝具が用意され冷暖房が完備されています。南側には広さ50畳の食堂兼テイルームがあり、入居者の皆さんのだんらんの場となり、料理教室、ミーティングなど幅広く活用できる空間となっています。ダイニングキッチンが用意され、IH式の電化グリルや冷蔵庫2台、炊飯器、電子レンジなどの家電を使って多くの方が自炊を楽しんでいます。その他浴室、シャワートイレ、洗面所、喫煙所が設けられています。2階は廊下に採光の天窗があり、日中は全く電燈を灯すこともありません。居室が15部屋あり、南側には談話室があり本棚を設けゆっくり読書を楽しむことが可能です。



あしびも開所して6ヶ月が過ぎました。
利用者の方にあしびでの生活について聞いてみました！

Q. あしびに入居して変わったことはなんですか？

よく買い物に行くようになった、活動的になった
料理も時間と予算を考えて簡単なものが作れるようになった
毎日お風呂に入るようになった。
タバコの本数が減った

Q. 入居して良かったことは？

人に気兼ねなく食事やお風呂に入れる
ゆっくり眠れるようになった、落ち着く。自分の部屋が出来て気分が良い

Q. これから頑張ろうと思っていること

簡単な料理が出来るようになること
習字や漢字、小中学校の学習
皆と一緒に喋ったり、ご飯を食べたりしたい。

■ あしび行事 ■

定期的なもの

月1回のミーティング、血圧測定、体重測定、運営委員会

10月29日	第1回 料理教室 (牛丼)
11月26日	第2回 料理教室 (チャーハン)
12月10日	パンジーと水仙の植え込み
12月15日	消火器訓練
12月17日	第3回 料理教室 (ちらし寿司)
12月19日	夜間想定防災訓練
12月29日	居室大掃除
1月21日	第4回 料理教室 (雑煮)
1月28日	心の健康フェスティバル (東海市文化会館)
2月10日	ボランティア交流会 (あしび見学)
2月18日	第1回 食事ツアー (かっぱ寿司)
3月18日	第5回 料理教室 (中華飯、ギョーザ)



料理教室はボランティアグループひまわりの方にもお手伝いで参加していただいています。
回を重ねるごとに、みんな積極的に参加されるようになりました！

利用者の皆さんの変化から、いつもスタッフはエネルギーをもらっています！

開所当初は、洗濯機の使い方やお風呂の沸かし方、エアコンの使い方も分からず、苦労されていました。また共同生活なので、テレビのチャンネルについて、トイレの使い方について、お風呂の順番についてなど、利用者同士でギクシャクすることもありましたが、週に1回のミーティングで皆で話し合ってきました。

半年の間に病状が悪化された利用者の方もあり、スタッフもどのように対応してよいのか悩んだこともありました。スタッフにとっても初めてのことが多く、不安や戸惑うこともありました。

そんな中でスタッフを勇気づけてくれたのが、利用者の方の変化です。

薬の管理が2日しか出来なかったAさんが、1週間の管理ができるようになったり、自炊を今までできなかったBさんが初めて肉じゃがを作ったり、外へ買い物に行けなかったCさんがスタッフの付き添いで歩いてフィールまで買い物をしたりできるようになりました。

さらに利用者の方が笑顔であしびに帰ってきてくれることが、スタッフの喜びとなっています。

これからもスタッフ一同頑張っていきたいと思います。

あしびスタッフより 「開所後半年を振り返って…」



この6ヶ月は早かったです。入院の方が続き一時自分たちの援助の仕方々に自信をなくし落ち込んだこともありましたが、利用者の方から学んだことも多く、スタッフ皆の成長もうれしいです。これから利用者と一緒にあしびらしさを作っていきたいですね。



皆が初めての事に取り組み、共に励ましあいながらの半年でした。利用者の方の変化がスタッフのエネルギーになりました。まだまだスタート、これからも「安心して過ごせるあしび」になれるよう頑張っていきたいです。



はじめた当初はスタッフも不慣れで不安もありました。利用者の方が落ち着くのに3ヶ月はかかるのではないかと予測していましたが、意外にも早く1~2ヶ月で落ち着いたように感じます。今後とも頑張っていきたいです。



病棟との関わり方とは違い、はじめは戸惑いました。あしびでは利用者の方と共に家庭に近づいた生活を送ることが出来てきたように思います。これからも利用者の方の変化を見ることが出来ると嬉しいです。



はじめは不安ばかりでしたが、周りの方の励みや助言で安心をいただきました。また利用者の方々を通して学ぶこと、気づくことが沢山でき、自分にとっての大きな実りとなりました。利用者さんとスタッフからの笑顔、言葉、思いやり、優しさを励みに今後の自分に役立てていきたいです。

今後とも福祉ホームB型あしびをよろしくお願いいたします。